

原点に帰る

― 答えのない世界で学び続ける ―

村上杏葉＝文
佐々木信行＝写真

姿勢職人を育てる

――IHTA及び認定校YMCメディカルトレーナーズスクールの最高技術顧問でもある秋山先生。現在はあるような活動をされているのでしょうか。

IHTAに関する活動としては主にセミナーです。整体やアジャストメント（調整）などの治療全般についての心構えや体のメカニズム論そして技術的なノウハウも伝えています。ただしセミナーで教えることができるのはあくまで「形」。最終的にはセンスや感性といった部分も大切になってきます。そのほか月に1回程度の治療院での施術や、IHTA以外のいろんな団体からの依頼でセミナーなど。セミナーは美容やふくらはぎに関する内容など、特化する内容は依頼によって様々です。ふくらはぎについて1時間喋るのはけっこう

大変（笑）。だから毎回勉強ですよ。

――治療歴40年のベテラン治療家の秋山先生でもセミナーでは「毎回勉強」なのですね。今後目指しているのはどんなことですか？

これから目指しているのは、患者さんを正しい姿勢に導く「姿勢職人」を育てることです。人間が病気になる根本は「食」と「姿勢」。言い換えれば「食べ物」と「重力」、これが外界から受けるストレスの根源です。体が重力をうまく受け止められないと腰痛や肩こりが発生します。それを本来の自然な姿勢へ正すお手

「これからの時代、技術だけでは差別化できなくなる」と話す治療歴40年のカリスマカイロプラクター、秋山融氏。同氏が開所した治療院ではピーク時に250人ももの患者が列を成し、数多くの著名人を施術した実績も持つ。昭和、平成の時代を駆け抜けてきたベテラン治療家が考える「これからの治療院の在り方」について聞いた。

伝いをするのが「姿勢職人」です。セミナーや指導を通じてそのような人を育成していくのが今後やりたいことです。学びたいという人がいれば私は全て教えますよ。隠しごとはありません。治療院で美容系の施術を担当してもらっているスタッフもIHTAのセミナーでの指導を通じて知り合い、一緒に院を盛り上げてもらっています。

――1983年に先生が開所し、現在は総院長として経営に携わる「桐ヶ丘整骨院」ですね。美容系の施術メニューを取り入れるようになったのはなぜでしょうか。

治療院のターゲットとして年配の患者さんは外せません。たとえば「顔のたるみが気になって外に出かける気がしない」と話す女性が、当院の施術でハツラツと散歩や買い物に出かけられるようになったとしたら？ その人の口コミで娘さんやお孫さんなど、家族や親族が通ってくれる可能性もあるでしょう。

また、「美しさ」とは姿勢が作り出すものでもある。人間の眼は目線を水平に保とうとする働きがあります。身体が傾くと斜めになった目線を水平にしようと今度は首が傾く。そうやって脊柱や骨盤のバランスもどんどん崩れ、ふくらはぎの筋肉や足の着地面の状態も悪化していくのです。人間はバランスの動物。「足↓骨盤↓脊柱↓頭」の順に整えていくことが美容の原点にもなる。「美」と「健康」は切り離せないのです。

一般社団法人
国際ホリスティックセラピー協会
最高技術顧問

秋山融
Toru Akiyama

Toru Akiyama

秋山 融（あきやま・とおる）
一般社団法人 国際ホリスティックセラピー協会
最高技術顧問
YMCメディカルトレーナーズスクール 最高技術顧問
柔道整復師／桐ヶ丘整骨院 総院長
ストリンテックステーピング発案者

柔道整復師として桐ヶ丘整骨院を開業、ピーク時には1日に250人以上の患者が待合室に列をなした。多くの患者の施術をしていく中で、より高い技術を求めた末にカイロプラクティックに出会う。以来、カイロプラクターとして30年間、多くの臨床経験を積み、独自の理論「APバランス」を提唱。現在でも同院で施術にあたっており、政治家やスポーツ選手、芸能人などがその評判を聞きつけ、紹介で来られる人が後を絶たないというカリスマカイロプラクター。

説明5割、治療5割

——これからの時代、治療院で大切になってくるのはどんなことだとお考えですか。

今、自分がどんな施術をしているのか、それを何のために行うのかをきちんと「説明」することだと思います。施術に入る前の検査と、施術後の変化とでビフォー／アフターをはっきりさせ、患者さんの気持ち的な「納得感」で効果をより明瞭にする。そういったことがこれからの時代は差別化のために必要だと思います。技術力は当然大切ですが、重みとしては「説明が半分、治療が半分」くらいの気持ちでいた方がいい。検査に加え、どんな体を目指したいかを聞き出すカウンセリングも重要。もちろんトークだけに集中する必要はなく、施術しながら、揉みながらでも話すことが大事です。そして、このような「説明」をするのにもやはり勉強が必要で、自分が理解していないことを説明することはできません。だからこの仕事は一生勉強です。

——心を込めて施術してもあまり変化が見られないとき、どう対応するべきでしょうか。

私の場合、変化がなかったり調子が低下したりした場合は、施術3回を目安にして原因を

「手当て」は日本古来の文化。大切に守っていききたい。

考え直します。施術であまり効果がない場合、医学的な他の要因がないときはメンタル面が影響している可能性もあります。

ある高校生は部活で腰を痛めて通うようになりましたが、身体的な機能は回復したにもかかわらず痛みが抜けませんでした。話を聞くと、どうやら学校に会いたくない人がいるようなのです。このケースのように、メンタル面が真の原因である患者さ

んは昔からある程度存在していました。

——たしかに、心理面の影響で痛みが発生している場合、技術一辺倒では真の原因にたどり着くことも難しそうです。

当院の患者さんは病院や他の治療院などを何箇所も経由してたどり着く人が多い。これまでどんな説明と治療を受けてきたかをしっかりと確認することが大切です。それまでの方針や治療

を否定することはしません。あくまで患者さんの状態を改善するために足りなかったことを「補う」という意識で向き合います。なぜ今の状態になったのかよく話を聞き、会話しながら探していきます。

西洋医学と東洋医学の関係性も、本来はお互いを認め合い、補い合えるのが理想です。東洋医学でも「手当て」という言葉を使うように、私たちが行なっ

いるような施術は日本古来の伝統的な治療法であり、文化の一つ。大切に守ってほしいと思います。

一生勉強

——秋山先生はなぜ治療家になったのですか？

サラリーマンが向いていなかった。一人でできる仕事があったのがきっかけです。一つは、サラ

リーマンを辞めてアルバイトをしていた時期に柔道整復師の学校に通っている人と知り合ったこと。

それで専門誌を読んでみたら国家資格を取得すればすぐに「先生」と呼ばれることがわかり「これはいいな」と。もともと父親が医療従事者だったことも影響しているとは思います。

当時は徒弟制度がまだ残っていたので資格を取つてもすぐに独立はできません。合計3年くらいは師匠について、給料ももらえずに働いていました。これは辛かった。「どうにか成り上がってやろう」と技術だけは磨かれました。

——その後独立して開所された

桐ヶ丘整骨院のピーク時には、1日250人の患者さんを治療したとの逸話が残っています。

記憶力だけはもともとすごく良いタイプで、この仕事に就いてみたらその力が役立ちましたね。今は歳を重ねて少し衰えてきているけど、だいたい1万人くらいの臨床例は頭に入っていて、施術の度にその記憶をずっと呼び戻すことができる。1日250人の患者さんを施術したのは開業して7、8年くらいだったかな。狭い診察室をいくつにも区切つて弟子を10人くらい抱えた状態でした。診察終了時間になつてもまだ40、50人くらい患者さんが残つていて、全員の施

術が終わると21時とか22時。その後みんなでお酒を飲みながらその日のできごとや患者さんのことなどをいろいろ話し、情報共有していましたね。「職場の人とは最低限しか関わりたくない」と考える人も今は増えているけれど、きちんとコミュニケーションが取れていた当時の治療院はとても良い状態で回っていたなと感じます。

——膨大な臨床経験を積み重ねてきた秋山先生。最後に、読者へのメッセージをお願いします。

どう治療していいかわからなくなることは誰にでもあります。そんな時は原点に戻つてみてほしい。私だって今でもしよつちゅう

そんなことがあります。「最初はどうかたつたけ」と過去を振り返ったり、治療を始めた頃と比べないがしろにしてしまっていることがないかを自分の感性を頼りに治療を考え直します。昔読んでいた本を読み直したり、ためていた古い本や臨床医学の本を読み漁つてみたり。そうしているうちになんとなく自分なりの答えにたどり着く。結局、迷う度に毎回勉強し直しているようなものです。

治療スタイルも、アグレッシブだった時代を経て今の私はごく微弱な「触るだけ」の治療に戻っている。決まった答えがないのが我々の世界。常に勉強。勉強が終わることはありません。

首から上へのアプローチで全身状態を改善



整体師

草井京子

Kyoko Kusai

IHTA認定メディカルトレーナー

IHTA認定リフレクソジスト1級

IHTA認定リラクゼーションセラピスト1級

予防医学リンパセラピスト学院

ストレッチかつ経路フェイスマッサージセラピスト

elpis認定ヘッドセラピスト

治療院での施術において首から上の部分は盲点になりがち。しかし頭や顔の筋肉も全身の状態に影響を与えます。噛み合わせの癖などにより頭部の筋肉の使い方や硬さに偏りが生じると、肩や腰など遠く離れた部分の痛みにつながることもあります。桐ヶ丘整骨院では頭や顔へのマッサージやトリートメントで全身へアプローチをしていきます。どのメニューも血流を良くして硬くなった筋肉をほぐし、全体のバランスを整えることが目的。付随するメリットとして肌のターンオーバーが整ったりシミやシワの予防になったりという美容関連の効果も期待できます。体験された患者さんの中には「今日は腰が辛いから顔を施術して」とリクエストする人や、1年間悩まされた目眩がたった一回の施術で激減した人も。全身のバランスを改善することの必要性を改めて実感しています。



筋肉の深部まで刺激を届けられる高周波電気刺激装置「バイオフィンシア」を使った施術の様子。他にも手技によるマッサージや中国の伝統療法「かつさ」を使った頭皮と顔のマッサージなども。

セミナー情報

～40年の治療家人生が生んだふくらはぎの神秘～
「ふくらはぎのインナーマッスルが健康のカギ！」

日程 6月19日(金) 13:00～16:00 受講料 IHTA会員:10,000円／一般:17,000円

場所 YMCメディカルトレーナーズスクール新宿校 定員数 20名

主催:(社)国際ホリスティックセラピー協会(IHTA) お申込みはHPから! ⇒ <http://ihta.or.jp/ihta-seminar-top/>



特別講師
秋山 融